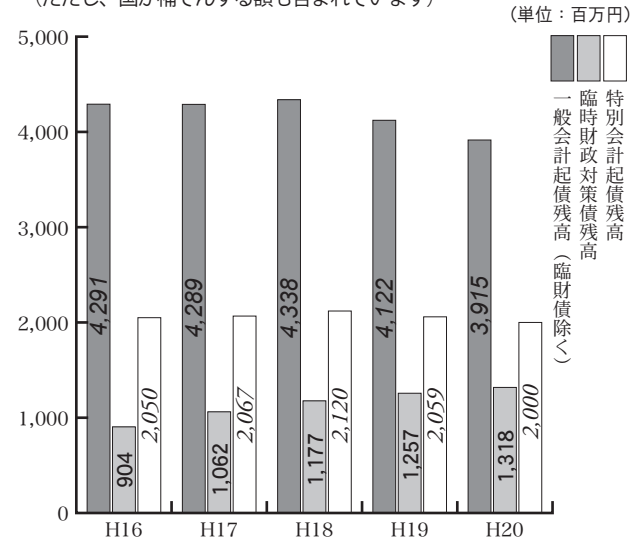


■平成20年度末の町債（借金）残高

一般会計（臨財債含む）	52億3,287万円
特別会計	19億9,989万円
合計	72億3,276万円

（ただし、国が補てんする額も含まれています）



町債現在高は、13年から地方交付税からの振り替えによる臨時財政対策債発行で増加しているものの、通常債の発行額を当該年度起債償還額以内に目標を設定し、20年度末の一般会計町債現在高は52億3,287万円、前年度比1億4,607万円（▲2.7%）減となりました。

特別会計分の現在高は19億9,989万円、前年度比5,938万円（▲2.9%）減となりました。

■20年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率

地方公共団体の財政の健全化に関する法律（以下「財政健全化法」という。）が19年6月に成立、公布されました。この法律は、町の財政の運営状況を比率で表し、基準以上となった場合には運営状況を見直すための計画を作成し、財政の健全化に努めなければなりません。

財政健全化法に基づく東川町の健全化判断比率及び資金不足比率は以下のとおりです。

健全化判断比率の状況

区分	決算数値	早期健全化基準	財政再生基準	
実質赤字比率	—	(-)	15.0	20.0
連結実質赤字比率	—	(-)	20.0	40.0
実質公債費比率	13.3	(13.8)	25.0	35.0
将来負担比率	31.7	(38.8)	350.0	

※実質赤字比率及び連結実質赤字比率は、すべての会計で赤字額がないため、「—」（マイナス）表記で記載しています。  
 ※実質公債費比率は、地方債の元利償還金などの公債費や公債費に準じた経費を標準財政規模を基本とした額で割ったもので3カ年の平均値を表しています。早期健全化基準以内となっています。  
 ※将来負担比率は、将来的に負担することが見込まれる実質的な負担額を把握し、負担の償還に充てることができる基金などを差し引いた額を標準財政規模を基本とした額で割ったもの。早期健全化基準以内となっています。

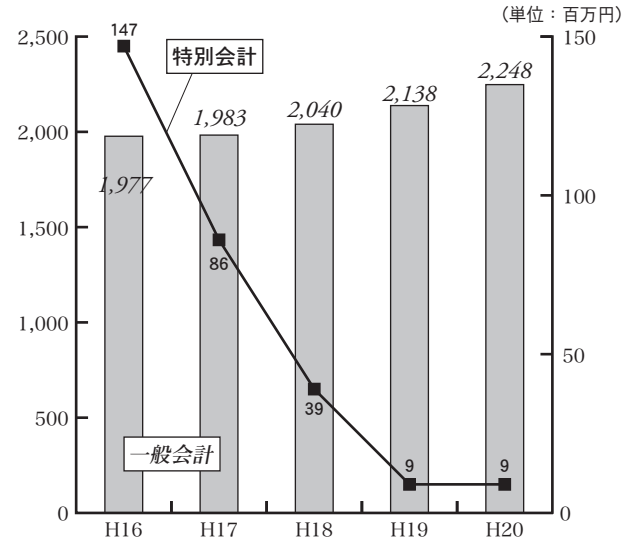
資金不足比率の状況（公営企業会計）

区分	決算数値	経営健全化基準	
簡易水道事業特別会計	—	(-)	20.0
下水道事業特別会計	—	(-)	20.0
宅地造成事業特別会計	—		20.0

※資金不足比率は、特別会計において赤字額がないため、「—」で記載しています。  
 ※一般会計等の実質赤字にあたる公営企業会計における赤字額について、公営企業の事業規模に対する比率となります。  
 ※宅地造成事業特別会計は20年度から開始したため19年度は該当ありません。

■平成20年度末の基金（貯金）残高

一般会計	22億4,774万円
特別会計	903万円
合計	22億5,677万円



基金は財政調整基金による財源不足分の取り崩しを予定していましたが、歳出で効率的な事業執行、可能な限りの経費節減によって取り崩しなく事業遂行することが出来ました。20年度末の一般会計基金現在高は22億4,774万円、前年度比1億943万円（5.1%）増となりました。

特別会計分は903万円、前年度比4万円（0.4%）の増となりました。

■実施した主な事業（一般会計で実施した主な投資的事業を掲載します）

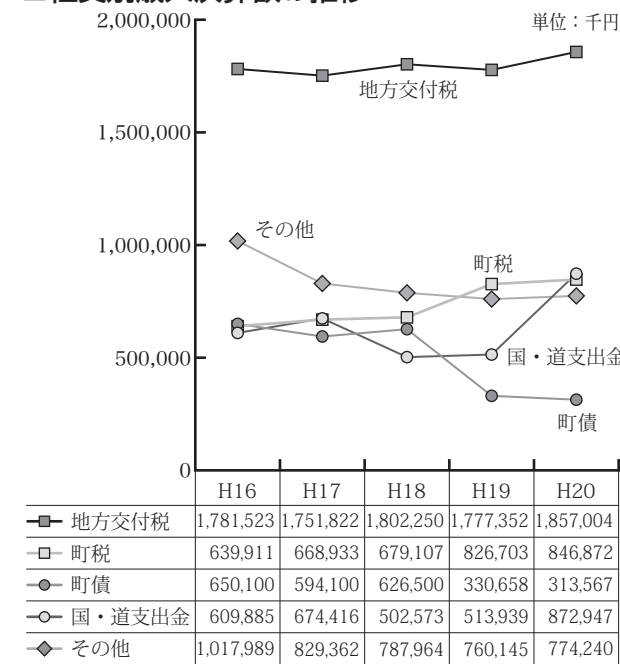
総務費	・西部コミュニティセンター改修工事	46,745千円	・役場庁舎トイレ改修工事	2,519千円
	・旧大雪消防組合東川支署改修工事	4,620千円	・起業化支援事業	7,000千円
	・北工学園実習施設（生活支援施設）運営事業	10,000千円		
民生費	・西8号墓地造成設計業務委託	1,523千円		
農林業費	・農山漁村活性化プロジェクト支援事業(第1地区農村公園整備、水交流施設整備等)	58,549千円		
	・大雪遊水公園整備工事	59,305千円	・町有林整備事業	10,948千円
	・地域水田農業再編緊急整備事業	13,168千円		
土木費	・景観形成総合支援事業(役場庁舎正面玄関改修、町営住宅外観改修、柵が地区等)	70,119千円	・天人峡天津橋架替え事業	107,189千円
	・除雪ドーザ導入事業	14,375千円		
	・地域住宅交付金事業（東町4丁目団地整備、子育て支援住宅整備他）	170,544千円		
	・まちづくり交付金事業（グリーン・イルズ 遊歩道整備、道々旭川旭岳温泉線歩道整備他）	76,811千円		
教育費	・地域活性化・緊急安心実現総合対策交付金(帰ってこいよ住宅建設他)	74,814千円		
	・耐震2次診断委託業務(小学校・中学校)	21,998千円	・幼児センター増築設計委託業務	8,776千円

■町民1人当たりになると（一般会計の決算額を単純に人口7,783人（21年3月）で割ったものです）

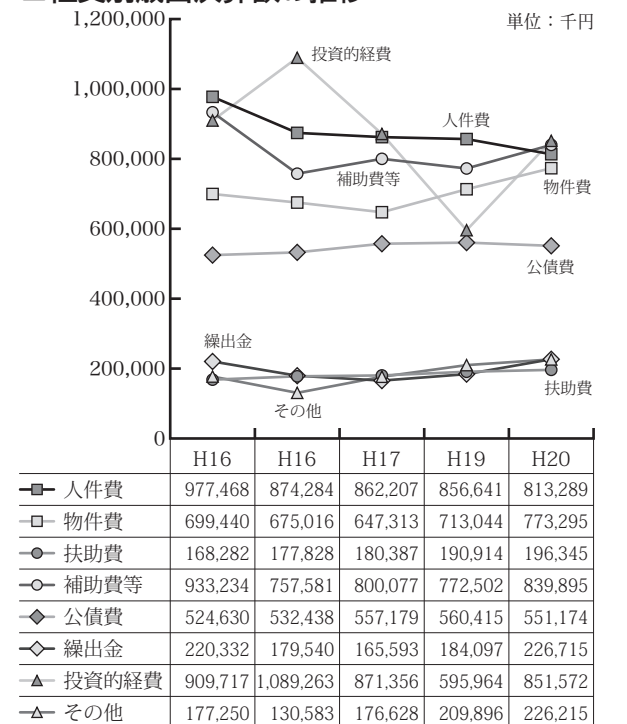
使われた一般会計予算は…	575,421円
総務費（職員給与・町営バスなどに）	152,318円
土木費（道路整備・除雪・公営住宅などに）	75,639円
公債費（町の借金返済などに）	70,818円
民生費（福祉の充実などに）	68,813円
教育費（学校等の維持管理・社会教育などに）	52,741円
諸支出金（特別会計への繰出しなどに）	44,582円
農林業費（農林業の活性化などに）	36,062円
商工費（商工・観光・写真の町事業などに）	25,589円
衛生費（検診・ごみ処理・墓地管理などに）	23,270円
その他（議会・消防などその他の事業に）	25,589円

（借金・貯金）	
町債（借金）残高は…	672,345円
国からの補てんを除いた町債残高は…	393,949円
基金（貯金）残高は…	289,962円
（収入）	
町税の負担は…	108,810円
国からの地方交付税は…	238,597円
使用料・手数料の負担は…	17,921円
（支出）	
人件費は…	104,496円
投資的経費（建設事業）は…	109,414円

■性質別歳入決算額の推移



■性質別歳出決算額の推移



お問い合わせは企画財政室 ☎82-2111（内線227）